

平成 27 年度京都大学防災研究所共同研究集会「台風研究会」
「複合系台風災害のメカニズムに関する研究集会—気象学・海洋学・海岸工学・
土木工学・建築工学・生態学を交えて—」

日時：平成 25 年 10 月 31 日（土）・11 月 1 日（日）

場所：京都大学宇治キャンパス 防災研究所連携研究棟 3 階大セミナー室

※会場は、http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/00gaiyo/campus_map.html の水色 5 番の建物です。

（JR 奈良線黄檗駅、京阪電車黄檗駅 徒歩約 10 分）

主催：京都大学防災研究所

プログラム

10 月 31 日（土）

10:30 - 10:40 趣旨説明 筆保弘徳（横浜国大）

第 1 セッション（温暖化と台風）

座長 嶋田宇大

10:40 - 11:00 高解像度台風モデルによる台風強度に関する擬似温暖化実験
吉野純（岐阜大）・荒川悟・豊田将也・小林智尚

11:00 - 11:20 伊勢湾台風の擬似温暖化実験
加藤雅也（名大）・吉岡真由美・金田幸恵・荒川理・坪木和久

11:20 - 11:40 NICAM を用いた温暖化による熱帯低気圧の構造変化に関する研究
山田洋平（JAMSTEC）・佐藤正樹・杉正人・小玉知央・野田暁・中野満寿男・
那須野智江

11:40 - 12:00 領域気候モデルによる現在と将来実験での台風の影響～大気海洋結合と非結合の
差から～
森山文晶（横浜国大）・筆保弘徳・芳村圭

12:00 - 13:00 休憩

第 2 セッション（台風災害）

座長 山田洋平

13:00 - 13:30 （招待講演）台風の被害の実態とその変遷
林泰一（京大）

13:30 - 13:50 バヌアツ共和国タンナ島の伝統的サイクロンシェルター
西嶋一欽（京大防災研）

13:50 - 14:10 北海道における森林の風倒評価：2004 年 18 号台風の影響
中川考介（北大）・森本淳子・古川泰人・三島啓雄・小川健太・饗
庭正寛・小黑芳生・高野宏平・伊藤瑠衣・竹見哲也

14:10 - 14:30 北海道における森林の風倒予測：2004年18号台風の21世紀末擬似温暖化実験
高野宏平（東北大）・饗庭正寛・小黒芳生・中川孝介・森本淳子・
古川泰人・三島啓雄・小川健太・伊東瑠衣・竹見哲也

14:30 - 14:50 休憩

第3セッション（竜巻）

座長 辻 宏樹

14:50 - 15:10 2014年台風8号のアウトーレインバンド内で発生した竜巻のレーダー解析
湯浅惣一郎（高知大）・佐々浩司

15:10 - 15:30 台風に伴って発生する竜巻の特徴
益子渉（気象研）

15:30 - 15:50 竜巻を発生させる台風について
末木健太（東大大気海洋研）・新野宏

15:50 - 16:10 休憩

第4セッション（台風シミュレーション）

座長 末木健太

16:10 - 16:30 領域気象モデルダウンスケーリングによる台風災害影響評価
竹見哲也（京大防災研）

16:30 - 16:50 台風ノモグラムにみられる台風通過時の強風特性と防災情報としての利用
山崎聖太（横浜国大）・筆保弘徳・加藤雅也

16:50 - 17:10 台風全域ラージ・エディ・シミュレーション
伊藤純至（気象研）・大泉伝・新野宏

17:10 - 17:30 MSSGビン法を用いたsea spray解像台風シミュレーション
大西領（JAMSTEC）・渕上弘光・高橋桂子

18:00 - 懇親会

11月1日（日）

第5セッション（発生・発達）

座長 伊藤耕介

09:00 - 09:20 北西太平洋域における台風発生予測可能性
中野満寿男（JAMSTEC）・那須野智江・菊地一佳・佐藤正樹

09:20 - 09:40 大気海洋結合領域モデルを用いた北西太平洋域における台風強度と環境場との関係
久木山真衣子（名大）・篠田太郎・加藤雅也・坪木和久

09:40 - 10:00 台風の大きさの変化と降水分布の関係

辻宏樹（九州大）・中島健介

10:00 - 10:20 台風サイズに対する水平解像度依存性

沢田雅洋（気象研）

10:20 - 10:40 休憩

第6セッション（台風構造）

座長 沢田雅洋

10:40 - 11:00 沖縄周辺を通過する台風の降水に対する台湾地形の影響

山田広幸（琉球大）・安倍舜・加藤雅也

11:00 - 11:20 2014年台風11号の風観測

佐々浩司（高知大）・吉村洸太郎・宮島亜希子・古田泰子

11:20 - 11:40 台風の急発達開始メカニズム

宮本佳明（理研）・竹見哲也

11:40 - 12:00 多重壁雲形成機構に関する感度解析

伊藤耕介（琉球大）

12:00 - 12:20 台風発生過程の初期渦発達条件に関する数値実験

吉田龍二（理研）・宮本佳明

12:20 - 13:20 休憩

第7セッション（台風データ）

座長 吉田龍二

13:20 - 13:50（招待講演）デジタル台風：複合災害の現状認識を目指すビッグデータ解析

北本朝展（国立情報学研）

13:50 - 14:10 安政江戸台風(1856)の被害と当時の気象場推定

坂崎貴俊（京大生存研）・加納靖之・大邑潤三・服部健太郎・財城真寿美

14:10 - 14:30 1900年から2014年における日本の台風上陸数

熊澤里枝（横浜国大）・筆保弘徳・久保田尚之

14:30 - 14:50 環境保全のための防災教育～台風時の環境破壊を考える～

佐藤元（気象予報士会）

14:50 - 15:10 休憩

第8セッション（ハイエン）

座長 中野満寿男

- 15:10 - 15:30 地上ドップラーレーダーを用いた 2013 年台風ハイエンの強度及び内部構造の解析
嶋田宇大 (気象研) ・久保田尚之 ・山田広幸
- 15:30 - 15:50 フィリピン中部を襲った台風 1330 号の気象・海象場に関する再現実験
豊田将也 (岐阜大)
- 15:50 - 16:10 フィリピンを襲った 2013 年台風 30 号(Haiyan) とその類似台風
久保田尚之 (JAMSTEC)
- 16:10 - 16:20 閉会の辞
竹見哲也 (京大防災研)